
定額の資金を運用するための
基 金 の 運 用 状 況

V 定額の資金を運用するための基金の運用状況

特定の目的のために定額の資金を運用している国民健康保険高額療養資金貸付基金、岩手県収入証紙調達基金、福祉医療資金貸付基金の運用状況を示す書類について審査の結果、計数に誤りはなく、基金の運用から生じた収益の処理は適正に行われ、設置目的に沿って運用されているものと認められた。

各基金の当年度中における増減高及び年度末現在高並びに運用額と回転率は、次のとおりである。

1 国民健康保険高額療養資金貸付基金（基金の額 12,000千円）

（単位：円，回）

区 分	令和6年度末 現在高	決算年度中 増減高	令和7年度末 現在高	運 用 額	回転率
現 金	11,251,261	0	11,251,261		
貸 付 金	748,739	0	748,739		
計	12,000,000	0	12,000,000	0	0.00

- (1) 現金（預金）は、前年度から 11,251,261円が繰越され、当年度内の増減はなく 11,251,261円が翌年度に繰越された。
- (2) 貸付金は、前年度から 748,739円が繰越され、当年度内の増減はなく 748,739円が翌年度に繰越された。
- (3) 当年度の貸付額を基金の額で除した回転率は 0.00回である。

2 岩手県収入証紙調達基金（基金の額 1,000千円以上）

（単位：円，回）

区 分	令和6年度末 現在高	決算年度中 増減高	令和7年度末 現在高	運 用 額	回転率
現 金	516,510	△ 282,970	233,540		
証 紙	483,490	282,970	766,460		
計	1,000,000	0	1,000,000	2,101,700	2.1

- (1) 現金（預金）は、前年度から 516,510円が繰越され、当年度内証紙売払額 1,818,730円と当年度内証紙購入額 2,101,700円の差引額 282,970円が減少し、233,540円が預金として金融機関に保管され、翌年度に繰越された。
- (2) 証紙は、前年度から 483,490円が繰越され、当年度内証紙購入額 2,101,700円と当年度内払出額 1,818,730円の差引額 282,970円が増加し、766,460円が市金庫に保管され、翌年度に繰越された。
- (3) 当年度の証紙購入額を基金の額で除した回転率は 2.1回である。
- (4) 証紙の売捌手数料 69,355円は、一般会計に収入されている。

3 福祉医療資金貸付基金（基金の額 20,000千円）

（単位：円，回）

区 分	令和6年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	令和7年度末 現 在 高	運 用 額	回 転 率
現 金	19,873,200	△ 1,073,520	18,799,680		
貸 付 金	126,800	1,073,520	1,200,320		
計	20,000,000	0	20,000,000	1,460,350	0.07

- (1) 現金（預金）は、前年度から 19,873,200円が繰越され、当年度内償還額 386,830円と当年度内貸付額 1,460,350円の差引額 1,073,520円が減少し、18,799,680円が預金として金融機関に保管され、翌年度に繰越された。
- (2) 貸付金は、前年度から 126,800円が繰越され、当年度内貸付額 1,460,350円と当年度内償還額 386,830円の差引額 1,073,520円が増加し、1,200,320円が翌年度に繰越された。
- (3) 当年度の貸付額を基金の額で除した回転率は 0.07回である。